柏原市新庁舎建設通信

令和2年度11月

Vol. 12

断熱工事（硬質ウレタンフォーム吹付）

断熱工事とは建物内の温度が外部へ流出したり、外部の温度が建物内に侵入することを防ぐことで建物内の空調効率を損なわないために行うもので、掲載写真の中でピンク色の部分が断熱材となります。

室内と外部の温度の行き来を防ぐための物なので外部に面する壁や天井に施工されます。

今回新庁舎で使用された断熱材は現場発泡断熱材という種類のものとなり、スプレーガンにより吹き付けて施工する物で、吹付面の形状を選ばずに施工することが可能で、下吹き・上吹きの2度の施工で必要な厚みに仕上げてます。

断熱材の吹付厚みの確認には、建設通信Vol.11で取り上げた耐火被覆の確認ピンと似たものを使用し、所定の厚みまで吹き付けられていることを確認しています。

外壁面への施工状況

天井面への施工状況

▲柏原テラスの下の階にあたる部屋

▼ロックウール吹付けでも使用した厚み確認用のピン

確認ピン設置状況

屋上防水工事

屋上防水とは、屋上の床面に施工される、防水層のことを指し屋内への雨水の侵入を防ぎ建物の劣化を防ぐ重要な役割をもっております。

屋上防水の工法として大きく3種類あり、ウレタン塗膜防水、シート防水アスファルト防水があり、新庁舎では主にアスファルト防水と部分的にウレタン塗膜防水にて施工されています。

ウレタン塗膜防水工事施工状況

アスファルト防水の特徴として、熱して溶かしたアスファルトとシートを積層していくため、水密性に対する信頼がとても高い、また耐久性も高く他の防水工法と比べても耐用年数が長いことがメリットです。

デメリットとしては、溶かしたアスファルトを材料として使用するので、専用の窯等の設備を据える場所や、アスファルトの臭いが強い等が挙げられますが、今回の新庁舎に関しては窯などを据えるスペースも充分確保でき、周りにアスファルトの異臭が届く住宅も無いためうってつけの施工法となりました。

アスファルト防水工事施工状況

外部大階段のコンクリート打設

新庁舎の北側に計画されております大階段のコンクリートの打設が11月12日に施工されました。

コンクリートの打設量は85㎥にもなり、とても大きな面積の階段となるため、型枠の施工に不安はありましたが職人さんたちの技術力で綺麗にコンクリート打設することが出来ました。

この大階段を上がると、2階外部のかしわらテラスに通じており、市民の方や来庁者の方たちの憩いとなるスペースへの動線となります。さらに2階庁舎内の市民利用コーナーへ続いており、イベント等での一体的な利用も可能です。

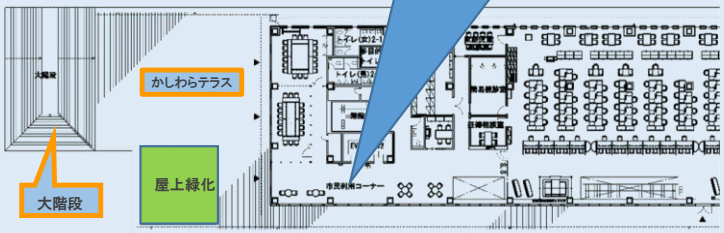
そしてこの大階段には、部分的に照明が組込まれますので、夜間にはその照明が階段を照らしてくれます。

庁舎の北側に大きく構えられた大階段は新庁舎の顔にもなり得る部分と言えますのでご来庁の際はどうぞご覧ください‼

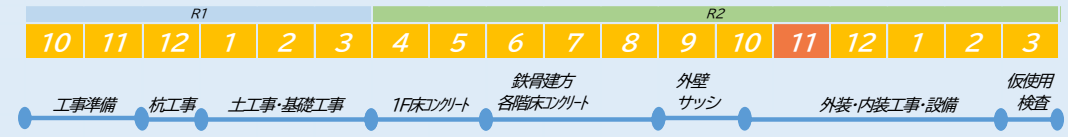
大階段コンクリート型枠施工状況

大階段コンクリート打設後

市民利用コーナーのイメージ



新庁舎建設工事　令和2年度スケジュール



582-8555
大阪府柏原市安堂町1番55号
柏原市役所　総務部庁舎整備室
TEL：072-920-7175
E-Mail：choshaseibi@city.kashiwara.lg.jp

※来月号の掲載は勝手ながらお休みとさせていただきます。